凡　事　徹　底

当たり前のことを当たり前に

蕨市立第二中学校
学校だより
令和３年度
第１１号（３月号）

一年間のご支援とご協力、ありがとうございまいた

校長　小山　晃弘

保護者の皆様におかれましては、日頃より、本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。感染防止対策を継続し、授業や様々な活動に一生懸命取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

□早いもので３月になりました。卒業の季節です。

近所を散歩していると、梅の花が咲いているのを見かけます。ほのかに良い香りがします。紅白並んで咲いているのを見ますが、私の見る範囲では先に紅梅が咲き、少し時間をおいて白梅が咲いているようです。インターネットで調べてみると、特に紅が先で白が後という訳でもなく、品種の違いとのことでした。大きな白梅の木が歩道橋脇に立っているので上から覗いてみると、周囲に丸く白いものがたくさん落ちています。梅の花びらが、こんなに丸いものかと驚きましたが、多少デフォルメされているとは思いますが、家紋などで見てみると確かに丸く描かれているものが多くあります。梅は和歌に詠まれたり、香りを楽しんだり、古くから日本人の生活に溶け込んでいたのでしょうね。

梅の花に続くように、今度は桜の花のつぼみが膨らみはじめました。桜の花びらは容易にイメージすることができたのですが、それは卒業式や入学式といった学校行事を彩る時季のものであるからでしょうか。満開の桜の花を見るのがとても楽しみです。

３月は卒業の季節です。ご案内のとおり、昨年に引き続き、卒業式は内容を大幅に削減し、参加人数も制限しての実施となります。保護者の皆さんや３年生にはたいへん申し訳ありませんが、式場の準備等一生懸命取り組ませていただきますので、どうかご容赦ください。３年生が立派に巣立つ姿を、一緒に見守っていただければと思います。

卒業の季節に思い出す詩をご紹介します。（昨年度の学校だよりでもご紹介させていただきました。）

独りではない　　宮澤章二

ひとりっきりで耐えねばならぬ季節には
ひとりっきりで耐える強さを持とう……
草の芽たちは　みんなそうして育った
けれど　育ってみると独りではなかった
まわり中に　同じ強さを持つ仲間があふれ
ありあまる若さで光り合っているのだ

ひとりっきりで咲かねばならぬ季節には
ひとりっきりで咲く勇気を持とう……
花のつぼみたちは　みんなそうして開いた
けれど　開いてみると独りではなかった
まわり中に　同じ勇気を持つ仲間があふれ
香り合う美しさで共に輝いているのだ

勇気に満ちた強い心　それが命を磨く
磨かれた命は仲間を呼び　仲間に出合い
はればれと生き抜く宇宙を　そこにつくる

中学生の皆さんは、自分の判断で行動しなければならないことが増えてきます。責任も重くなります。でも、辛いときも我慢が必要な時も、同じように頑張っている人が必ずどこかにいて、いつか仲間として出会えるチャンスがくることを信じて進んでいって欲しいと思います。

□一年間、ありがとうございました。

保護者の皆様におかれましては、今年度もたくさんのご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍の折とはいえ、学校行事の縮小や急な予定変更、毎日の健康観察など、ご理解をいただき感謝申し上げます。今年度も残りあとわずかとなりましたが、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の学校だよりは、本号をもって最終号となります。ご一読いただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

《学校教育目標》
自ら学び、深く考える生徒　（知）
心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp